



愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町 9-7
労働会館東館 3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://www.airoren.gr.jp>
発行人 樽 松 佐 一
第145号 2005年 8月10日

愛労連 第1回評議員会
■と き 9月23日(祝)13:30
■と ころ 労働会館東館ホール
※解散総選挙にともない日程変更予定
愛労連第33回定期大会報告特集

愛労連
第33回
定期大会

組織の拡大で 憲法改悪、大增税はね返そう



羽根新議長の音頭で団結ガンパロー

愛労連は7月24日、名古屋市の中村区役所講堂で第33回定期大会を開催し、代議員や傍聴など約220名が参加しました。最初に見崎議長が幹事会を代表してあいさつ。来賓には全労連の寺間誠治組織局長、愛知県商工団体連合会の太田義郎会長、日本共産党愛知県委員会の岩中正巳委員長、林信敏前県議員、国民救援会愛知県本部の安藤巖会長らが駆けつけました。

争議紹介では愛労連の支援する争議団が揃い、争議の早期解決をめざす決議を全員の賛成で採択し、たまた、今大会は、昨年の定期大会で提起された組織拡大3ヵ年計画から1年となくなることから、組合員数を純増で迎えた6単座に組織拡大表彰が行われました。

午後からの討論では12単座、5地域組織、2補助組織から27人が発言し、修正意見はなく基本的には幹事会の提案する方針を支持・補強するものでした。

議案採決では、1号議案（総括と方針）が保留2・賛成多数で可決、2号議案（決算及び監査報告）がすべての代議員の賛成で可決、3号議案（財政方針及び予算）が反対3・保留5・賛成多数で可決され、大会宣言が全員一致で採択されました。また、新議長に羽根克明さんをはじめ、新しい35名の役員が選出されました。（詳細は2〜4面）

く進んでいる。300万人を超える失業や長時間過密労働、重大労災事故の続発、低賃金で無権利な非正規労働者の激増は日本の未来に関わる大問題。愛労連

愛労連議長
あいさつ
大会

小泉悪政許さず、くらし 平和をまもる先頭に



見崎徳弘議長

小泉内閣は、年収500万の世帯で42万円もの大增税を打ち上げている。さらに07年といわれる消費税の二桁増税がかぶさったら、庶民はお先真っ暗。解散・

ポチ」といい、イラクへの自衛隊派兵を延長する対米追随ぶりを見せているが、アフガンやイラクへの実態は国際紛争解決の手段として、戦争があまりにも無力

トヨタやNTT、JRなどは、大企業の社会的責任を問うたたたきを重視し、大企業の上昇を、4年連続のベアゼロや成果主義賃金の導入・拡大、11万人リストラなど、働く者の賃金・雇用・権利破壊がとめどないをいっそう強めよう。

総選挙で、社会保障の連続改悪と大增税路線にきっぱり「ノー」の審判を下そう。自民党は7月7日、「新憲法」草案の叩き台となる第一次素案を発表した。小泉首相は自ら「ブッシュの

なこと、「百害あって一利なし」ということをくっきりと証明した。今こそ日本国憲法の心を世界にひろげるときだ。すべての職場に「九条の会」をつくり、学習と宣伝をつよめ、「戦後

小泉政治4つの大罪
小泉首相はこの4年間、「構造改革」の名で国民に「痛み」を強いてきました。その一方で大企業には規制緩和と減税でボロもうけをさせていま

戦後初めて武器を持った自衛隊が海外に派兵されました。有事法制、住基ネット、イラク特措法など危険な法律が次々と作られました。小泉首相は靖国参拝で強硬な発言を繰り返し、日本を危険な方向に引きずってきま

金権・腐敗ほう助の罪
宗男ハウス・日歯連一億円献金事件・道路公団「橋梁談合」など政界・業界の癒着事件が連続して発生しましたが小泉首相は「他人事」。自ら進んで説明しようとはしませんでした。

は、日本を「海外で戦争をする」国に変えるものであり、絶対に許すことはできません。選挙の争点は増税と憲法「改正」です。この選挙で小泉悪政に終止符をうち、増税阻止・憲法9条とくらしを守る政治を実現させましょう。



羽根克明
(新)議長

総選挙で痛み押しつけの 「構造改革」政治にストップを

議長声明

8日、参議院本会議で郵政民営化関連法案が大幅で否決されました。政府は国会を解散し、8月30日公示、9月11日投票で総選挙が行われることになりました。

多くの国民が民営化に疑問や反対の声をを出しており、自民党の一部も含めて「否決」されたこと

医療、年金、介護、税金と毎年のような大改悪で労働者もお年寄りもたいへんな負担増に。さらにマイナスイノベーションの賃下げの「悪魔のサイクル」が続いてきました。

争点は増税と憲法
トヨタが毎年1兆円の利益をあげる一方で中小企業では赤字と廃業が続出。大企業ほど正社員を減らし、若者の二人に一人が失業か非正規雇用になっていきます。また大事故やサービス残業の摘発も相次いでいます。

愛労連定期大会での代議員の発言の多くが眼の前の困難に正面からぶつかり改善をめざし、あるいは解決させたという感慨を感じたのは私だけではないだろう。毎年、大会を重ねるたびに、きびしい情勢・環境という枕詞から、運動の経験とそこで培った確信に発言が変わって来ている◆07年問題というものが労組の文書にみられるようになった。団塊の世代が現役役員を引退し後輩へのバトンタッチがうまくできるかどうかという課題だ。私も団塊の世代だから気にはなるが、大会の発言を聞く限り、そんな不安を感じる必要はないのではないか◆ていねいに語り合う、要求で団結し組織で一斉行動、若者に間口をひろげた運動、36協定などの今ある権利をうまく活用するなど、職場にも適用できそうな教訓だ。憲法講座や九条の会など、これからひろがっていくであろう経験も出された。郡上の町中を1時間練り歩いて平和をアピールした青年の行動は、団塊の世代には気恥ずかしさが先に立つが、臆せず見習いたいものだ◆自由に意見を言え、要求し、交渉できる労働組合があるということだけで、過労死を防止しているという、組合活動への期待と熱い思いを込めた発言をうけて、もう一度、原点に戻って向こう1年の活動に挑戦しようと思う。（I）

基礎に法廷闘争をたたか
ってきたことにありま
す。

- ①団体交渉
- ②職場ニュース発行
- ③組織拡大
- ④残業代返還
- ⑤制裁金返還
- ⑥労災認定
- ⑦不当労働行為命令

判決から3ヶ月たった
今、ローカルユニオンは
中労委での全面解決に向
けて法人の正常化と4人
への謝罪、泰中さんの職
場復帰への協議を進めて
いる。